

## 理想的な救助隊長像（確定案）

## 1 理想的な救助隊長としてのマインド（意識）

具体的な救助技術、知識、人材育成の支援手法を身に付けていることを前提に、

- ・ 救助人材の育成と救助隊の成長に熱意を持ってかつ積極的に尽力し、
- ・ 高い使命感と責任感、強いリーダーシップ、広い視野を持ち、
- ・ 隊員を育成するとともに、上司を補佐（現場活動における現場指揮者への報告・連絡・打診を含む）し、

いかなる状況であっても「人を救い、助け、守る」ために最善を尽くすことができる救助隊を作り上げ、救助隊長としての誇り、自信、自制心を貫くことができる。

## 理想的な救助隊長としてのマインド（意識）を構成する要素

- ①自らが、自らを律し、周りから信頼される救助隊長としての役割、救助技術、知識及び人材育成支援手法について、常に学び続けることができる。
- ②自らが、規律とパワーハラスメントの違いを理解し、隊員への指導育成行動をすることができる。
- ③隊員に、心理的に安全な場所を提供できる。
- ④隊員に、良い学習機会を提供できる。
- ⑤隊員の、自発的な意識（内発的動機付け）を高めることができる。
- ⑥隊員の、自信（自己効力感）を高めることができる。
- ⑦隊員の、自律性を高めることができる。
- ⑧上司への、補佐（現場活動における現場指揮者への報告・連絡・打診を含む）をすることができる。
- ⑨全隊員で、救助隊は、誰のために、何のために、どういう存在であり続けるのかを考え、その認識を共有することができる。

## 2 現場における理想的な救助隊長像

救助活動現場において、

- ・ 災害現場の状況を分析し、
- ・ 救助資機材及び救助方法を適切に選択・決定し、
- ・ 現場指揮者による救助活動方針の決定を支援し、
- ・ 隊員に具体的に指示下命し、
- ・ 活動中の隊員及び要救助者の安全を常に評価、確保※し、  
※）確保には、指示の追加、方針や救助方法の変更などを含む

早期かつ安全に要救助者を救出することができる。

### 理想的な救助隊長像を実現するための到達目標

- ①災害現場の状況を的確に分析できる。
- ②災害状況に応じた適切な救助資機材の選択ができる。
- ③要救助者への負担が最小限となる救助方法を選択・決定し、現場指揮による救助活動方針の決定を支援することができる。
- ④現場指揮者による救助活動方針と決定した救助方法に基づき、隊員の技量や能力に応じた指示下命ができる。
- ⑤要救助者に配慮し、かつ、活動を分析・評価し、隊員の安全管理ができる。
- ⑥現場指揮者に活動状況を適時適切に報告できる。
- ⑦必要に応じ、関係機関等と適切に連携できる。
- ⑧事案後、救助活動を振り返り、今後の実災害や訓練に活かすことができる。

### 3 訓練指導における理想的な救助隊長像

訓練指導では、

- ・ 隊員に適した訓練を企画立案し、
- ・ 隊員に明確な**実施理由**や到達目標を示し、
- ・ 訓練中の隊員の安全を常に確保※し、  
※) 確保には、指示の追加、訓練内容や方法の変更、中止などを含む

救助活動現場において、隊長の指示下命のもと、安全・的確に行動できる隊員を育成できる。

### 理想的な救助隊長像を実現するための到達目標

- ①救助活動に関する法的な知識を隊員に説明することができる。
- ②訓練計画に基づき、隊員に適した訓練を企画立案できる。
- ③各隊員の技量、体力、性格に応じた明確な到達目標を設定できる。
- ④災害状況に応じた救助方法（資機材や各種救助法の組み合わせ）について指導できる。
- ⑤訓練時の安全管理や危険予測、危険排除について、具体的な指示、準備を行うことができる。
- ⑥訓練実施後は、必ず評価、講評（褒める、認める、課題の提示等）を行い、技術の定着と練度を向上させることができる。